

「観光コンテンツ開発」「特産品開発」に関する
検討ワークショップ

日時：平成29年7月5日 午後2時～
午後6時～

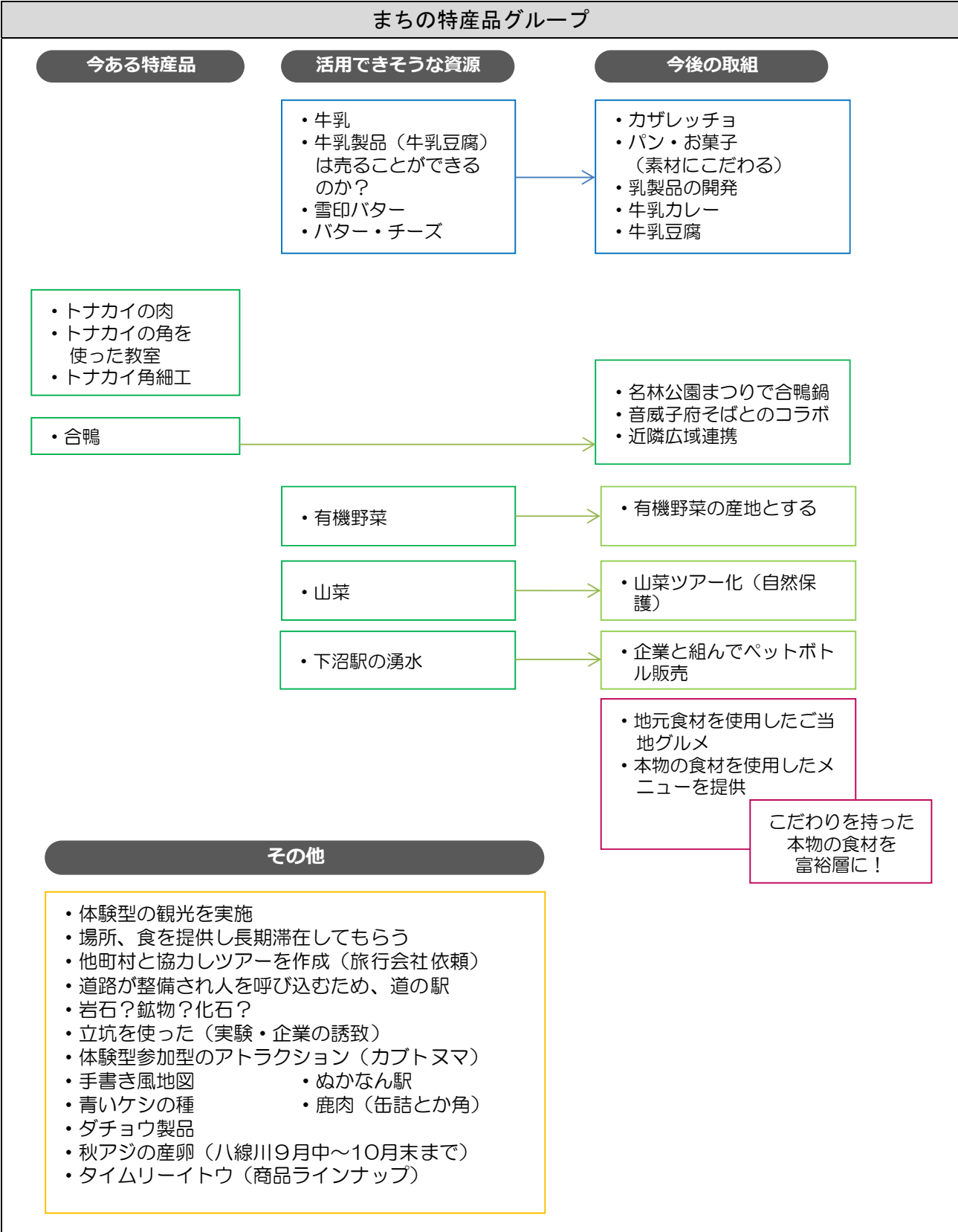
場所：幌延深地層研究センター国際交流施設
1階多目的ホール

－議事次第－

1. 開会
2. 幌延町地域振興（観光）計画について 【資料1】
3. 平成29年度の事業等について 【資料2】
4. 検討ワークショップの流れについて 【資料3】
5. 話題提供
 - (1) 稚内信用金庫幌延支店グルメ研究会「グルメアンケート」結果 【資料4】
 - (2) 協働のまちづくり活動支援制度 【資料5】
6. グループ討議
7. 各テーブルからの発表
8. その他
9. 閉会

平成 28 年度 検討ワークショップ結果

①第 1 回検討ワークショップ



今後の方向性は どうする？

- 町民の観光客を受け入れる体制が整っていない
- ソフトが重要、ハードは駐車場+トイレ+シャワー
- **こんな拠点が...**
 - お年寄り（町の文化を持ってる人たち）と交流できる場
 - 鳥抜きのできる場所がほしい（子育て中の女性が同じ環境の人・先輩と交流できる場）
- 拠点はマチにほしい！（中心商店街）
- 拠点は中心商店街が理想、正し導線が必要
- 導線を意識した新たな拠点づくり
- 拠点は、ある目的を果たすために人が集まるところかな
→ **人が集まる仕掛けが必要！まずやってみる！**
（フリーマーケット、マクドナルドと売る仕掛け）
- **地元の観光客も利用する拠点を！**
 - 川の駅をつくる
（カヌー、ソフトクリーム、キャンプ場、特産）
 - 道の駅

道の駅があれば名産品を置ける、川の駅（カヌー）と併せればいいのでは？

- **広域連携**
 - なにかできる。天塩豊富はフットパス。ヒトでの情報交換をやっている
 - ふっとバスコースがあれば...
- **地元も観光客も利用する拠点を！**
 - まちの人があってよかったですと思えるもの
 - そこに観光客は集まる！
 - 町民が町内で楽しめない7と外からのお客さんは来ない！
- **PR！**
 - イベント開催（釣り大会、湿原ウォーキング）
 - B級グルメ（合鴨丼、幌延牛乳）
 - 食べ物（各物）
 - 乳製品作る！

現状は？いいところは？

- トナカイ観光牧場
 - 食事もいい
 - ブルーボビー
 - 家族が来られる
 - 花がいっぱい
 - ライダーも来ている
 - 木道の整備がmust
 - クマよけのすず
 - ガイドがいるとOK
 - 自然が多い（川・山・星）
 - カヌーができる
 - 立派なパークゴルフ（公園）がある
 - 冬の除雪がきれい（雪山がない）
- 梁地層研究センター
- 幌延駅
- 道路が多方面にのびている
- パン屋（まちなかの）

課題は？

- 景色がいい、もっと生かせる！（もったいない）
- 観光客が役場に来る → 案内拠点があれば...
- 立ち入り禁止？
- 廃駅にならない？
- 金田先生知ってる？アピール不足
- ケシは貧相。トナカイだけではNG。名物が必要。立地が悪い
- 道道106号
- 役場
- 南沢町営牧場
- 秘境駅
- 観光施設がPR不足！
 - 心象館
- 名物が必要！
 - トナカイ牧場

観光による地域づくり「A」グループ

知名度・PR・情報発信

- 幌延の名前が広がる方法が必要
- 町全体の商工業を町が一体的にPRする
- 知名度が低い
- 自然が豊富なのにPRがうまく出来ていない
- 幌延バター、名前変えちゃった？
- 他の町（国内外）の人たちとの交流で知名度を上げては？
- 他の市町村（国内）や国外との交流が見えない

町のイメージを高めるもの
(問題あり)

- トナカイ牧場見るところがない
- トナカイのイメージ
- トナカイは問題あり（食として安定してない）
- ブルーポピーが残念な状況
- ブルーポピー不作
- ブルーポピーの栽培が困難な花というが、何とか少しの家庭でも育てられるように
- 町民ブルーポピーみたことない？！
- ビジターセンター整備
- ほろのべ湿原センター使いにくい！
- ふるさとの森の道の老朽化

分かりにくい

- 導線がない
- サロベツ湿原センター 5万人/年

特産品を生み出す
パワーがない

- 「これだ！」という名産がない
- 特産品が他市町村に比べ弱い

行・住・業の協働

- 観光計画を立てるが行動を起こすリーダーがいらない
- 行政・商工会との一体化が必要

目指す観光のまちとは？

- 地域特性を踏まえた、幌延の目指す観光とは？
- 通年観光につながらない（投資に対する不安）
- 通年観光を目指す？ターゲットはどこ？
- 通過型の観光

経済効果

- 観光客は来ていると思う。その方々にお金を使ってもらう仕組みが弱い気がする
- 商工業の活性化が観光のまちおこし

例えば、ブルーポピーを売り出している北欧の町と姉妹都市提携を結んで人事交流を図るのはどうか？

体験移住できる施設
＋
災害時施設

- もうかる目線
- サロベツ湿原を活かす取り組み（ツアーなど）をしているか
- 来る人目線
- Wi-Fi環境を作る
- 民泊の活用は？
- 住民の目線
- 安心目線（事件事故の少ない町で安心に過ごす）
- 町内無線を使って町民PR

観光による地域づくり「B」グループ

	現状・課題	提案
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・幌延の景色がいい ・時期・時間によって奇跡的な風景がある ・原野・展望台からの風景 ・道路まっすぐ ・オトンルイ風力発電。都会の人には受ける ・シカ。本州等の人には感動的。事故。農業被害 ・幌延の自然に触れるイベントがない 	<ul style="list-style-type: none"> ・風力・太陽光のみで生活体験ができる施設を
観光戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・PR力、発信力を強化 ・飲食店のアピールが弱い ・酪農業、ブランド化できるか？ (豊富町と併せてサロベツにする？) ・冬のイベントが寂しい、以前のように町民が参加できるように出来ないか ・観光協会 ・幌延の認知度低い、いいところあるのに ・幌延は見るところがない。考えると自然がいっぱいでもったいない。 ・魅力を感じる商品が少ない(特に乳製品) ・ボランティアなどの人手不足。忙しい?無用心? ・幌延の良さが知られていない ・体験型観光がない。滞在型も。 ・ガイド観光ない ・お土産がない。一応幌延クッキーを買っている。 ・ブルーホビー、今のままではもったいない。もっと力を入れたほうがいいのでは。 ・地元住民が魅力に鈍感?! 	<ul style="list-style-type: none"> ・PRビデオ、動画 ・継続性。しつこさ。 ・1点だけではなく複数あった方がいい ・同業別の方々のアピールを強化したい 屋敷交流会、釣りクラブ、 ・ふるさと納税のことを町民にアピールしては
観光施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆめ地層館。今だに処分施設だと誤解されている ・ビジターセンター、景観は良い。 豊富より目立ってるか? ・施設がきれい ・トナカイ観光牧場付近の散策路。自然すぎる。 ・トナカイ牧場、ノースガーデンの移転とリニューアル。駅からのアクセス方法の検討。 ・観光案内所がない ・体験交流型なし ・百合が原公園のように、トナカイ牧場で。 ・隣町や近隣町にあるものがない。温泉、パン屋、百貨店、ケーキや、ソバ屋、ホームセンター、ワークショップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・トナカイ、チョッパーとのコラボ ・トナカイ牧場は子どもが言えないので何か別の動物も取り入れたら。子供がもっと遊べるように。 ・青いケシ栽培困難?
観光コンテンツ (体験型)	<ul style="list-style-type: none"> ・進められる観光施設がトナカイ牧場のみ ・観光地(雑誌で紹介されるような)ところがない ・深地層研究所の地下350m体験を気軽に ・サロベツ原野未活用。アピール。 ・キャンプ場いまいち ・温泉がない ・秘湯駅に訪れる人が多いのに驚き ・カヌーボート。カヌー貸し出し? ・マラソンイベントで50人くらい集まる ・下沼、名山台の湧水、公園化 ・問寒別釣りクラブ ・お店に共通した食べ物があったら… 	<ul style="list-style-type: none"> ・テツ・トホ・チャリ旅に優しい町 ・エコな旅、輪の駅 ・きれいなライダーハウスあったらいいなあ ・健康ツーリズム ・北大研究林の活用 ・パンク沼でボート ・スポーツ観光 ・街中がきれいに舗装されていた
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・交通機関の本数が少ない ・稚内までの間でどうしてもカットしてしまう町 ・バイパスは景色がよくない ・市街地と国道が離れている ・魅力を感じる鉄道車両が少ない ・つつい車のスピードが… ・秘湯駅、先進性を発揮している。 ウォーキング、サイクリング等との連携でアクセスの問題を解決できるか? ・雑草が茂って利尻富士が見えづらい ・冬は吹雪で運転しづらそう ・自転車、バイクのツーリングはオロロンラインを通る 	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅があれば立ち寄れる ・道の駅、取り付け道路完成に伴う車両の集客 ・鉄道取り込み ・鉄道系資産の効果的な活用

②第2回検討ワークショップ

まちの特産品グループ

	取り組み	課題
牛乳	<ul style="list-style-type: none"> 牛乳（シンプルに飲みたい） バターを使って銘菓とコラボ 北海道乳製品メーカーとの連携 牛乳豆腐をお店で提供 牛乳寒天など幌延らしさを出して 	<ul style="list-style-type: none"> ●牛乳の産地をどうするか？ → 幌延牛乳ブランド化 → 第三者の評価 ●牛乳豆腐は初乳じゃないとできない・時期限定 ⇒ 酪農家が自らの名前で出す
湧水	<ul style="list-style-type: none"> 下沼湧水を使った豆腐・酒 下沼の湧水を町内の飲食店で使用する（お冷） 	<p>体に良い水は売りになる</p>
トナカイ	<ul style="list-style-type: none"> ジャーキー（トナカイ・カモ） 産地としてこだわる トナカイ肉の再利用（トナカイ肉とフキ、タケノコのいためたものをシフォンケーキで） ↑サンタさんの乗り物なので食べなくても良いのでは 	<ul style="list-style-type: none"> ●トナカイの増頭 → 使うなら増やす個人経営のため中々厳しい → 飼育環境の充実 販売店はどこか・実行者は誰か加工・生産する施設 ⇒ やるなら本気で！
カモ	<ul style="list-style-type: none"> 合鴨のハム 	<p>合鴨増頭</p>
野菜	<ul style="list-style-type: none"> 野菜の生産地となる 	<p>有機野菜の売り方 有機野菜に興味のある若者が増えている 何らかの方法で地元を引き込む</p>

- 今欲しいものは？ → ●道の駅（的な機能を持った施設）
（10：00-20：00開館 or 9：00-21：00開館など夜も使えるように）
 - 観光案内所・情報館
 - 車中泊可の駐車場
 - トイレ（増設・きれいであずまいトイレ）
 - Wi-Fi（駅などに設置）
 - おいしいレストラン（食堂）
 - 屋台村・出展ブース
 - 広い温泉
- 町民が集まれる場
 - ●幌延の昔話をお年寄りから話を聞ける場・場所
 - ・同じ趣味を持つ人が集まる場所
- 楽しいメニューの充実
 - ・トナカイを使った体験（聖地サンタの里）
 - ・トナカイ観光牧場をワンピースの物語に関連付ける
 - ・トナカイにキャラ付け！
 - ・多様な方に向けた天体観測
- 地元ボランティア
 - ・トナカイ牧場の花のメンテナンス
 - ・川のクリーンアップなど
- 幌延の拠点って何？ → 誰に対しての拠点？（町民or観光客？両方？）
 - ・ビジターセンター
 - ・トナカイ牧場
 - ・役場
 - ・三日月湖付近
 - ・天塩川川の駅
 - ・国道（R40）

⇒ **今あるものを活かして！**

観光による地域づくりグループ

	既存観光の磨き上げ	自然資源を活用した体験型観光	新たなツーリズムの創出
アイディア	<ul style="list-style-type: none"> ● 受入施設 受け皿整備 ホテル（ベッドトイレ付）・タクシー・バス・快適性のあるトイレなど ● トナカイ牧場 肉を食べたい 赤ちゃんの成長記録 命名権 トナカイ乗り（子供がターゲット） ワンピースの手ヨッパーの世界観を再現（桜並木など） 北欧的な町づくり サンタクロースの資格を取る トナカイ牧場の説明 ゆめ地層来訪者 ● ノースガーデン 角細工増産・出品 青いケシの種を欲しがることが多い エキスを抽出 ※まずトナカイ・花の整備！ 新しいことはしなくていい ※課題：観光の組織化 	<ul style="list-style-type: none"> ● サロベツ湿原 サロベツ湿原の遊歩道の整備 ガイド育成 花暦 星空体験 鳥屋さん取り組み ナイトハイク 自然資源の情報発信 (花・動植物の風景) ● ツアーの提案 渡り鳥観察ツアー（春・秋・冬） 水資源ツアー (湿原・サロベツ川・湧水) 環境保全ツアー (木道の修繕・沼の清掃・湿原の笹刈・ハルズツーリズムなど) ● 北大研究林 探検的な子供向け学習宇 コサクラ 山菜体験・食事会 ※課題：個人ガイドの育成・組織化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 湿原ツアー サロベツ湿原センターライド（自転車）の開店。 コース：幌延→豊富→風車→ビジターセンター ● 景観 タカフエの開く ※ビジターセンターにある展望台の上で喫茶店を開く。夕日を眺める。 稚内の朝カフェ⇄幌延⇄豊富 ● 秘境駅ツアー JR下沼駅で喫茶店 下沼駅カフェ (湧水コーヒー・山菜料理) ● 鉄人と地球の交流（複合で） (コスモス・キク芋育成・山菜体験・除雪かまくら) ● 鉄・折り返し置自転車編行 駅近くのスポットで釣り・名所めぐり など細微化
ターゲット	<p>町民が楽しめて観光の方も楽しめる まず町民 アジア系外国人・本州の人</p>	<p>町民が自然資源を知る機会を作る</p>	<p>サイクリスト 道内の人 鉄道愛好家</p>
担い手	<p>受け皿がない・仕組みを作るのは誰？ 町民からけしかける！ 強烈なキーマン 実行部隊・企画舞台 観光協会に専任スタッフがない</p>	<p>ガイドの育成 ガイドの常駐 北大研究林認定ガイド サインタ（120kg以上）</p>	<p>歩道整備ツアー まずは何か一発！ メディア</p>

③第3回検討ワークショップ

1班

具体的な取り組み・アイデア	どこで	誰が	いつ	その他
<p>トナカイIPR</p> <ul style="list-style-type: none"> トナカイのそり、サンタからプレゼント(ホットミルクの提供) トナカイの角で作品を作る体験 トナカイのこともと写真を撮る トナカイ牧場を旅行会社にPRして団体旅行の企画に入れてもらう 	トナカイ牧場		<p>通年 12月</p>	
<p>食</p> <ul style="list-style-type: none"> 特産品を使った丼など開発(トナカイ丼・合鴨丼) 酪農体験(乳しぼり・チーズ作りetc) 山菜体験・食事会 ピクニックセンター展望台にて喫茶店 飲食店のローテーションによる献立予約制(旅弁当)の宣伝・販売。(主に旅行者対象) 企画乗車券利用者(提示)で一品サービス(1ドリンク) 飲食店利用促進 	各お店ごとに協力	各お店ごとに協力	<p>いつでも</p> <p>10月の農家さんが忙しくない時期 4～5月</p>	<p>衛生管理体制を整える 協力いただける町内飲食店 北海道の許可・お店の協力体制</p>
<p>情報</p> <ul style="list-style-type: none"> 「今日の幌延」をブログで発信(町内の駅・風景・季節・町の話題等) 町内飲食店の情報発信の強化 	<p>食ハログへの登録 利用者目録の情報提供 SNSでの発信 飲食店(公営)</p>			
<p>資源・絆</p> <ul style="list-style-type: none"> 雄倉内地区にある山道の整備(写真がほしい) 星空の綺麗に見えるスポット ブルーベリーの花が買えるようにしてほしい クリスマスイベントへの参加・幌延PR 		町民が一緒に花まちづくり	11月下旬～12月	
<p>名産品コンテスト</p>	<p>全国 ネットで募集・大会は幌延で</p>	住民+全国	春から募集	
<p>スタンラリー(観光スポット、まちなかで)を行い抽選で宿泊券プレゼント</p>				
<p>イルミネーションで街を彩る</p>	まちなか		12月	

具体的な取り組み・アイデア	どこで	誰が	いつ	その他
<p>①既存観光施設の魅力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フルービーにこだわらず、北方系・高山植物が豊富。これをもっと活用しては？(ノースガーデン) 				
<p>②雄大な自然資源の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰延ビクターセンターでのガイドメニューの充実化 ・景観の保持(増設により現在のすばらしい景観をつぶすことはしない) ・帰延ビクターセンターにガイドが必要では？ 				
<p>③帰延らしい観光の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬歩くスキーでハンゲ沼へいこう! ・魚渡せるのが売り ・年齢・性別に応じた観光コース ・乗り物のない人呼び込み ・習字体験ツアー 				
<p>④グートウェイとなる拠点の整備</p>				
<p>⑤地域特産品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湧水マップ作成・情報発信 ・特産品として、たべて人気があるのはジギスカンなので、羊肉の生産を始める(個人出資) 		町が	来年から	<p>※活動資金はどうする?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成金を活用 ・町が管理? ・観光協会が軸
<p>⑥情報発信の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湖原のPR(web・紙媒体など) ※国立公園なのに不足 ・夏・冬・季節に応じた通年で人を呼べるものが必要ではないか 				
<p>⑦帰延らしい滞在メニューの開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船震体験、民泊支援(農家は忙しい) 				
<p>⑧冬のにぎわい創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬季閉鎖する施設が多いので冬ならではの楽しめるものを作りたい(ふるさとの森のふれあいの館のテッキ部に巨大ツリー設置) ・山村広場 	ふるさとの森 名林公園		クリスマスの時期 夏ー名林公園祭り 冬ー雪まつり(復活させる)	
<p>その他の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ●おちでなしを! ・稚内空港の出迎え、降車駅への出迎え ・旅：食う・寝る・遊ぶ ・宿泊施設増やす ・温泉施設を作る(まちなかで日帰り入浴のできるような施設) 				<p>体制(?)を整える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「町ー連絡会ー部会」ーリーダーー実施 ↓ ・リーダー(個人・グループ・チーム)が必要 ↓ ・各種実施部隊・ボランティア(ex.兼通・関心ごと・世代) ↓ ・ボランティア募集・登録をまずすべ! ↓ ・町内団体の協力 ・実施範囲・範囲 (ex.行政手続・関係先との調整・予算物品調達)
<p>●推進体制ー実行部隊.....定年後の高齢者(シルバー人材センターなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やる人が現状いないため、それを担う団体及び組織を整備する ・実行部隊の整備『観光協会』 ・参加のハードルを下げる 				
<p>●戦略づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客のターゲットは定まなくてよいのか ・空き家を整備して、観光客(町外都市圏)に最低1週間で貸出し将来の定住につなげ商店の活性化にも貢献する 				

具体的な取り組み・アイデア	どこで	誰が	いつ
<ul style="list-style-type: none"> - カヌー (健康・子ども向け) - 親子カヌー大会 	天童川	カヌークラブと連携	夏
<ul style="list-style-type: none"> - ノースガーデンの整備 - 植栽整備 - 図鑑などが設置してあるといい - 研修会 - お花畑をつくる 	ノースガーデン トナカイ観光牧場	住民 (ボランティア) 地域おこし協力隊 役員の方	春~秋 夏
<ul style="list-style-type: none"> - 野鳥観察 (ヒシクイ・オオヒシクイなどの貴重種が見れる) 	北大研究林 天童川	野鳥に詳しい方とやる	年中OK
<ul style="list-style-type: none"> - <見える化>するために - 観望の入り口に大きな看板を設置 		町民有志とネット公簿 (デザイン建築)	すぐ始める
<ul style="list-style-type: none"> - オートンレイ原車群を見ながら海浜清掃 		町民+官+ネット公簿	初夏、花がきれいなとき
<ul style="list-style-type: none"> - 民間による特産品検討会の創設 (売り方の工夫) 		特産品にかかわる関係者及び興味のある方	呼びかけ人を決めすぐに
<ul style="list-style-type: none"> - トナカイ角働工 (PR) - フィッシング - 釣りの同好会を作って情報発信する 	地方・催事局	釣り好きの有志 (投票?)	いつでもOK 春~夏

平成 28 年度 子供のアイデアコンテスト結果

幌延に住む子ども達が考える、観光振興に関するアイデア募集するため、「おいでよ！ほろのべアイデアコンテスト」を実施しました。

図表 18. コンテスト実施概要

応募資格	幌延町在住の小学生・中学生・高校生
応募内容	イラスト、作文、レポートなど
応募状況	9作品

「幌延町地域振興（観光）計画」検討会において入賞作品の審査を実施し、応募9作品の中からグランプリ、準グランプリを各1作品、ブルーピー賞を2作品選出しました。



コンテストのチラシ

賞	アイデアの内容	応募者属性
グランプリ	サンタクロースが乗ったソリをトナカイに引かせて、町を走らせる。	小学5年生 男子
準グランプリ	幌延町で有名な「トナカイ」をさらに宣伝し、観光牧場を広げる。また、他では見られない「ブルーポピー」で、ブルーポピー畑をつくり、宣伝する。	中学1年生 女子
ブルーピー賞	利尻富士が美しく見える風景の良い場所で、合鴨や幌延産の野菜を使ったメニューが食べられる「カモカフェ」を開設する。	小学3年生 女子
ブルーピー賞	トナカイ観光牧場に「サンタさんポスト」を設置し、手紙をくれた子ども達に、クリスマスの日にはサンタさんからの手紙を届ける。	小学3年生 女子

冬に、トフカイにサンタを
のせたそりをひかせて、
田で走らせる。

私が考えたアイデアは、幌延町で有名なトフカイを今よりも、と有名
にしていくということです。たとえば、トフカイ観光牧場の規模を拓
大し、宗谷地方や留萌地方に宣伝をするなどして、トフカイのことを
幌延近辺に広めていけば良いと思います。トフカイはいつでも
どこでも見物できるものではないし、家族連れや小さい子供が来るし
て、エサをあげたりすると、お客さんはきっと「かわいい」と思ってまた来た
らくなると思います。

また、幌延町でもう一つ有名な「ブルーホピー」を有名にしてい
くと良いんじゃないかと思います。富良野市と似てしまいませんか？
ブルーホピーもまたいつでもどこにでも咲いている花ではない、
きれいな花なので、たくさんの方が集まると思います。また、今
まで、秘境駅などで若い年齢の方より高齢の方々が多
く観光しに来てくれたりするのですが、花になると若い年
齢の方も多々来てくれると思います。なので「ブルーホピー畑」の
ようなものを作って宣伝すれば良いと思います。

私のアイデアは「トフカイ」について宣伝し、観光牧場の規模を拓
げる」とこと、「ブルーホピー」について宣伝し、「ブルーホピー畑」
のようなものを作る」ということです。



計画の策定にあたっては、『幌延町まち・ひと・しごと創生会議「幌延町地域振興（観光）計画」検討会』を設置し、内容検討等や観光資源調査を行いました。また、町民の意見を広く取り入れるため検討ワークショップの開催、さらに各種アンケート調査、小・中・高校生を対象とした観光アイデアコンテストを実施し、計画策定の参考としています。

表1.本計画策定に関わる調査・検討

項目	概要	実績
幌延町地域振興（観光）計画」検討会	観光関係者や公募の他、産官学金労言議による検討会を開催	委員として22名が委嘱され、全5回の検討会を開催した。
検討ワークショップ	特産品開発や拠点づくり、まちづくりの3つのテーマで検討	延べ73人が参加し、検討ワークショップを全3回開催した。
観光資源調査	夏期・秋期・冬期の観光資源について関係者や町民等と調査	延べ35人が参加し、夏・秋・冬全3回の調査を実施した。
おいでよ！ほろのベアイデアコンテスト	幌延町に住む小学生、中学生、高校生を対象にアイデア募集	全9作品の応募があり、グランプリ、準グランプリ等を選出した。
町民アンケート調査	観光に関する町民の意識等を把握するためのアンケートを実施	調査票103票を回収し、町民の意識等について分析した。
旅行者アンケート調査	旅行者のニーズ等を把握するため観光客にアンケートを実施	調査票404票を回収し、旅行者のニーズ等について分析した。
まちづくり講演会	地域活性化と観光に関する講演会を開催	商店街活性化や道の駅・景観の専門家を招聘し、講演会を開催した。

目標の設定

本計画は、幌延町総合計画の下位に位置付けられることから、「幌延町総合計画」及び「幌延町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の観光振興に関する数値の達成を目標とします。

表2.幌延町総合計画及び幌延町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標

記載されている計画		指標	平成24年度実績	平成31年度(2019年度)目標
第5次幌延町総合計画	幌延町まち・ひと・しごと創生総合戦略			
●		観光資源に恵まれたまちと思う人の割合	13.1%	18%
●	●	観光入り込み客数	121,782人	130,000人
●	●	トナカイ観光牧場入場者数	48,244人	50,000人
	●	鉄道系観光客数	—	500人

今後の推進体制

観光に関係する組織や団体の他、商工業者、農業者、町民、行政等、幅広い主体がそれぞれの役割に応じて連携・協働し、まちの総力をあげて、本計画を推進する必要があります。

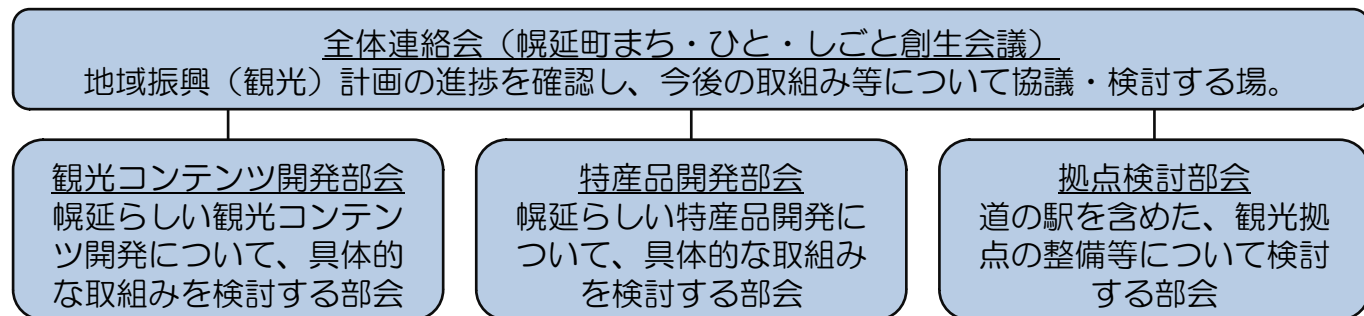


図2.今後の推進体制図

幌延町地域振興（観光）計画

【概要版】

「楽しい・美味しい・美しい」に出逢えるまち
HORONOBE/ほろのべ
 ～北緯45° のゲートウェイ【関所】を目指して～



平成29年3月

目指す姿

メイン

「楽しい・美味しい・美しい」に出逢えるまち
HORONOBE/ほろのべ

サブテーマ

～北緯45°のゲートウェイ
【関所】を目指して～

基本理念

- ①観光振興を通じてまちが“潤い・元気”になる
- ②幌延にしかない貴重な体験・経験を提供し、“幌延ファン”を増やす
- ③立地を活かし、宗谷地域を訪れる観光客の“交流点”となる
- ④エネルギーを生産・研究するまちとして、“観光・環境・学術の共存”を目指す
- ⑤“町民みんなが活躍”することで、人口減少に負けない観光まちおこしを実現する



基本戦略

戦略1. 既存観光施設の魅力向上



戦略2. 雄大な自然資源の活用

戦略3. 幌延らしい新しい観光の創出

戦略4. 幌延らしい滞在メニューの開発

戦略5. 地域特産品の開発



戦略6. 冬の賑わい創出

戦略7. 情報発信の強化



戦略8. 幌延町と宗谷地域における交流・交通の要処となる拠点の整備

主要な施策

トナカイ
観光牧場

戦略1-1 観光客受入環境整備の推進

戦略1-2 トナカイのイメージを活かした演出

ノースガーデン

戦略1-3 美しく花を見せる花壇の整備

幌延ビジターセンター及びサロベツ原野エリア

戦略1-4 自然を体感できるメニューの開発と提供

戦略1-5 木道等の環境整備

ホソ川風力発電所

戦略1-6 クリーンエネルギーや風車を体感できるメニューの開発

戦略2-1 北大天塩研究林を活用した教育型プログラムの開発と提供

戦略2-2 四季に応じた体験メニューの開発（山菜、鮭の遡上、バードウォッチング等）

戦略3-1 秘境駅等の鉄道資源を活用した観光振興

戦略3-2 サイクリングやカヌー、フィッシング、徒歩等のクワイエットスポーツによる観光振興

戦略4-1 豊かな自然を身近に感じるキャンプ場の利活用

戦略4-2 酪農等を体験する農家民泊の実施

戦略5-1 酪農の6次産業化や特産品開発

戦略5-2 トナカイや合鴨の生産強化及び新たな商品の開発

戦略5-3 地域特性を活かした農業の展開

戦略5-4 湧水の活用

戦略5-5 外部連携による食資源の活用

戦略6-1 アイスキャンドル等による官民連携・協働イベントの開催

戦略7-1 動画等による情報発信の強化

戦略7-2 観光大使による情報発信の強化

戦略7-3 町内飲食店の情報発信の強化

戦略7-4 ホスピタリティの充実

戦略8-1 町民や多様な旅行者が集う拠点

戦略8-2 地域特産品の販売など、まちのブランド化、活性化につながる拠点

戦略8-3 道や川など多様な移動手段の拠点

図1.計画内容一覧

幌延町地域振興(観光)計画 今年度の取組みについて

平成29年7月5日

「観光コンテンツ開発」「特産品開発」に関する検討ワークショップ

幌延町地域振興(観光)計画について

平成28年度に「幌延町地域振興(観光)計画」を策定。主な内容は、以下の通り。

目指す姿

メイン 「楽しい・美味しい・美しい」に出逢えるまち
HORONOBE/ほろのべ

サブテーマ ~北緯45°のゲートウェイ
【関所】を目指して~

基本理念

- ①観光振興を通じてまちが“潤い・元気”になる
- ②幌延にしかない貴重な体験・経験を提供し、“幌延ファン”を増やす
- ③立地を活かし、宗谷地域を訪れる観光客の“交流点”となる
- ④エネルギーを生産・研究するまちとして、“観光・環境・学術の共存”を目指す
- ⑤“町民みんなが活躍”することで、人口減少に負けない観光まちおこしを実現する

基本戦略

- 戦略1. 既存観光施設の魅力向上
- 戦略2. 雄大な自然資源の活用
- 戦略3. 幌延らしい新しい観光の創出
- 戦略4. 幌延らしい滞在メニューの開発
- 戦略5. 地域特産品の開発
- 戦略6. 冬の賑わい創出
- 戦略7. 情報発信の強化
- 戦略8. 幌延町と宗谷地域における交流・交通の要処となる拠点の整備

幌延町地域振興(観光)計画について

計画の策定にあたっては、『幌延町まち・ひと・しごと創生会議「幌延町地域振興(観光)計画」検討会』を設置し、内容検討等や観光資源調査を実施。また、検討ワークショップの開催、さらに各種アンケート調査、小・中・高校生を対象とした観光アイデアコンテストを実施。

本計画策定に関わる調査・検討

項目	概要
幌延町地域振興(観光)計画」検討会	観光関係者や公募の他、産官学金労協議による検討会を開催
検討ワークショップ	特産品開発や拠点づくり、まちづくりの3つのテーマで検討
観光資源調査	夏期・秋期・冬期の観光資源について関係者や町民等と調査
おいでよ!ほろのベアイデアコンテスト	幌延町に住む小学生、中学生、高校生を対象にアイデア募集
町民アンケート調査	観光に関する町民の意識等を把握するためのアンケートを実施
旅行者アンケート調査	旅行者のニーズ等を把握するため観光客にアンケートを実施
まちづくり講演会	地域活性化と観光に関する講演会を開催

幌延町総合計画及び幌延町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標

記載計画		指標	平成24年度実績	平成31年度目標
総合計画	総合戦略			
●		観光資源に恵まれたまちと思う人の割合	13.1%	18%
●	●	観光入り込み客数	121,782人	130,000人
●	●	トナカイ観光牧場入場者数	48,244人	50,000人
	●	鉄道系観光客数	-	500人

幌延町地域振興(観光)計画

「楽しい・美味しい・美しい」に出逢えるまち
HORONOBE/ほろのべ

～北緯45°のゲートウェイ【関所】を目指して～



平成29年3月

表紙

平成29年度の取組みについて

(1) 関連事業者からの意見聴取

商工会、飲食店、旅館等町内の観光関連事業者から、現状・将来展望等について聴き取りする。
※平成29年6月12日～13日に15団体にヒアリングを実施。

(2) 検討委員会、ワークショップ及び庁内協議の開催

アクションプランの内容検討及び「観光コンテンツ開発」、「特産品開発」、「拠点整備」のテーマについて協議・検討する。※資料及び会議録作成、運営補助

- ①検討委員会【5回】
- ②検討ワークショップ【2回】

(3) 計画の推進に向けた試行調査等の実施

計画の推進方策等について検討するため、試行調査を実施する。

- ①町内ボランティアによる施設の環境整備（トナカイ観光牧場ノースガーデン等）
- ②体験コンテンツ開発（遊び体験：カヌー・自転車・釣り等）
- ③地元食材等を使用した料理の試食会（生乳・トナカイ・合鴨等）

(4) 講演会の開催

幌延町における観光のあり方を町民とともに学び、共有するため、観光振興に関連する講演会を1回開催する。

(5) アクションプランの策定

上記（1）～（4）での結果を踏まえ、行動計画を策定する。併せて頒布用の概要版を策定する。

平成29年度の取組みについて

(2) 検討委員会、ワークショップ及び庁内協議の開催

アクションプランの内容検討及び「観光コンテンツ開発」、「特産品開発」、「拠点整備」のテーマについて協議・検討する。※資料及び会議録作成、運営補助

①検討委員会【5回】

アクションプランの策定を目的とし、まち・ひと・しごと創生会議メンバーを中心に検討委員会を組織し、5回の会議を開催する。

回数	内容
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・業務概要及びスケジュールの説明 ・関連事業者からの意見聴取速報 ・アクションプランのあり方検討
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回検討ワークショップ結果の報告 ・体験コンテンツ開発や試食会についての検討
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・町内ボランティアによる施設的环境整備、体験コンテンツ開発、試食会の報告 ・アクションプランのたたき台検討
第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回検討ワークショップ結果の報告 ・アクションプラン案検討
第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・アクションプラン最終確認

②検討ワークショップ【2回】

「観光コンテンツ開発」「特産品開発」、「拠点整備」について具体的な検討を目的に、検討委員会及び一般公募者によりワークショップを行う。

回数	内容
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・業務概要及びスケジュールの説明 ＜検討テーマ＞ ・観光コンテンツ開発／モニターツアーの検討 ・特産品開発／試食会の検討 ・拠点整備／拠点として必要な機能選定
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回検討ワークショップ結果の報告 ・町内ボランティアによる施設的环境整備、体験コンテンツ開発、地元食材等を使用した料理の試食会の報告 ＜検討テーマ＞ ・アクションプランの検討

スケジュール（想定）

会議名		6月						7月				
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
検討委員会		6/21		●			●		●		●	
検討 ワーク ショップ	観光コンテンツ開発		●					●				
	特産品開発		●					●				
	拠点整備				●			●				

平成29年度の取組みについて

(3) 計画の推進に向けた試行調査等の実施

計画の推進方策等について検討するため、試行調査を実施する。

① 町内ボランティアによる施設的环境整備（トナカイ観光牧場ノースガーデン等）

町民や関係者する方々に現状を理解いただき、協働体制を構築するために、トナカイ観光牧場ノースガーデンの花壇整備・維持管理について、町内ボランティアを募集し行う。

実施時期・内容(案)	6月30日／花の植栽・花壇の整備 8月中旬／雑草除去等、花壇の維持管理 10月下旬／越冬準備
------------	--

② 体験コンテンツ開発（遊び体験：カヌー・自転車・釣り等）

検討会や検討ワークショップにて検討した体験コンテンツについて、観光を学ぶ学生を招聘しモニタツアーを実施。観光コンテンツ化に向けて調査・検討を行う。

実施内容	①モニターツアーの実施【2泊3日予定】 ※コースは今後検討 ②モニターへのアンケート及び意見交換会の実施
実施日（予定）	平成29年8月17日（木）～19日（土）
協力頂く学校・教授	札幌国際大学観光学部国際観光学科 教授 河本 光弘ゼミ ※留学生を含む10名程の学生を予定

③ 地元食材等を使用した料理の試食会（生乳・トナカイ・合鴨等）

特産品開発の検討ワークショップでの結果を踏まえ、地元の食材を使用した料理の試食会を開催する。なお、具体的な実施方法については、ワークショップを通して検討する。

平成29年度 実施報告

(1) 関連事業者からの意見聴取

平成29年6月12日～13日に商工会や観光協会、企業、旅館、飲食店組合等、町内の観光関連事業者から、現状・将来展望等について聴き取り（ヒアリング）を実施した。

日時：平成29年6月12日（月）～13日（火）

- 内容：
- ・ 基本情報
 - ・ 利用者等の現状
 - ・ 幌延町地域振興（観光）計画の認識と意見
 - ・ 幌延町の活性化や振興に関してこれまで取り組んだこと
 - ・ 幌延町の活性化や観光振興における課題や重要視すべきこと
 - ・ 今後取組みたいこと

対象：

1	幌延町観光協会
2	幌延町商工会
3	幌延町調理飲食店組合（サロベツ会館）
4	幌延町農業協同組合
5	幌延町立北星園安心生産農園
6	稚内信用金庫幌延支店
7	雪印メグミルク（株）幌延工場
8	幌延深地層研究センター
9	JR北海道幌延駅
10	天塩ハイヤー
11	商工会青年部
12	ワラベンチャー問寒クラブ
13	北斗観光物産（北斗荘）
14	名山（光栄荘）

(3) 計画の推進に向けた試行調査等の実施

① 町内ボランティアによる施設の環境整備（トナカイ観光牧場ノースガーデン等）

町民や関係者する方々に現状を理解いただき、協働体制を構築するために、トナカイ観光牧場ノースガーデンの花壇整備として、青いケシ（ブルーポピー）のフラワーボランティアを実施した。

日時：平成29年6月30日（金）10:00～11:20

内容：青いケシ（ブルーポピー）の植栽

参加者：町民等20名、幌延町立小学校2年生23名



「観光コンテンツ開発」「特産品開発」に関する 検討ワークショップについて

平成29年7月5日

「観光コンテンツ開発」「特産品開発」に関する検討ワークショップ

1. 検討ワークショップの流れ



<目的>

「観光コンテンツ開発」「特産品開発」の具体的な取組みやアクションプランについて、町民みなさんの意見を広く取り入れ・検討を行う。

今年度の
具体的な
取組みを
検討

平成29年7月5日

昨年度策定した幌延町地域振興（観光）計画や今年度の取組み概要、本ワークショップの位置づけを説明。その後、『①観光コンテンツ開発』『②特産品開発』のグループに分かれ、今年度の具体的な取組みについてグループ討議を行う。

今年度の
結果を踏
まえ、今
後の検討

平成29年12月頃

第1回目の検討ワークショップや具体的な取組み結果等について説明。その後、幌延町地域振興（観光）の具体的なプラン（アクションプラン）について、グループ討議を行う。

アクション
プランに
反映

各種取組みや調査、検討ワークショップの結果を踏まえ、
「幌延町地域振興（観光）計画アクションプラン」を策定する。

2. 第1回ワークショップの実施内容



所要時間	項目	内容
2分	1. 開会	・開会挨拶
5分	2. 幌延町地域振興(観光)計画について	・昨年度策定した「幌延町地域振興(観光)計画」の概要について、説明
15分	3. 平成29年度の事業等について	・今年度予定している各種事業について説明
10分	4. 検討ワークショップの流れについて	・今回のワークショップの流れについて説明
70分	5. グループ討議	<ul style="list-style-type: none"> ・テーブル(「①観光コンテンツ開発」「②特産品開発」)に分かれて討議 ・進行役(ファシリテーター)、decが各テーブル担当 <p style="text-align: center;">～ワークショップの進め方～</p> <ul style="list-style-type: none"> ①グループごとに自己紹介【2分】 →地域の方はお互いを知っているかもしれませんが、初対面の方もいるかもしれないので、幌延町の好きなところと一緒に簡単に自己紹介して下さい。 ②「発表役」を決める【3分】 →テーブルからの全体発表を行う発表者を選出して下さい。 ③各テーマの“今年の実施内容”“その理由”をそれぞれ考え付箋に書き、模造紙に貼ってもらう【25分】 →模造紙のそれぞれ貼ってもらい、それぞれの付箋の内容についてお話し頂き、グループングする。 ④各テーマで出された意見から“優先度”を検討【20分】 →模造紙に貼った付箋を見ながら、今年実施する優先度について討議する。 ⑥テーブル検討結果のまとめ【10分】 →テーブルの検討結果について整理し、発表者及びテーブルメンバーと確認します。
10分	6. 各テーブルからの発表	・各テーブルから代表者がテーブル討議について発表。
3分	7. その他	
5分	8. 閉会	



3. 検討ワークショップとは



○ ワークショップとは

- 『ワークショップ』とは、あるテーマについて、多くの人たちの意見を出し合う、市民参加型の会議手法です。
- できるだけ多くの参加者から、いろいろな視点での意見をもらうことを狙いとしています。（グループに分かれる理由）

★5～6名程度の少人数のグループに分かれ、グループごとに議題について意見やアイデアなどを出し合います。

★グループ討議では、リーダー・進行役が中心となり議論を進め、出された意見やアイデアなどを取りまとめます。

★出された意見は、それぞれ付箋などに記録し、項目やテーマなどに分類しながらまとめます。

★グループ討議終了後、各グループでの意見について、全体で共有するため、グループごとに発表をします。

★最後に各グループでの意見を全体で取りまとめ整理します。



4. ワークショップの注意点



○ワークショップ3つのルール（注意点）

自分の意見は
手短かに話しましょう

少数で議論しているとはいえ、できるだけ多くの意見を出し合い、共有するために、できるだけ手短かに話をしましょう。

他の人の意見は
しっかり聞きましょう

議論を深め、様々な視点からより良い話し合いとするため、他の人の意見をしっかりと聞きましょう

他の人の意見を否定し
ないようにしましょう

一見違うように思える意見も発展させたり、背景や理由を考えたりすると意外に共通点があったりします。他の意見はむしろ発展させたり、相乗りして、より良いアイデアに発展させましょう。

5. 各グループでの検討テーマ・条件

①観光コンテンツ開発

モニターツアーの内容について検討する。

日程	平成29年8月17日(木)～19日(土) ・17日 朝:札幌発 昼ごろ:幌延着 ・18日 終日:幌延町 ・19日 午前:幌延町 午後:帰札幌
参加者	札幌国際大学観光学部国際観光学科 教授 河本 光弘ゼミ <属性> 20代の観光を学ぶ学生・留学生 10名程度

上記を条件に、以下の視点にてモニターツアーの具体的な内容について検討する。

体験コンテンツ

食(昼食や夕食)

宿泊(ホテル・旅館／キャンプ等)

学生モニターに求めること

②特産品開発

地域特産品の試食会について検討する。

日程	秋ごろ
内容 (参考例)	例1 ・町民を対象とした試食会の開催 例2 ・既存イベントと連携し、来訪者向けに試食会を開催 例3 ・シェフ等の専門家を招聘し、町内飲食店等の関係者向けに試食会を開催

上記を条件に、以下の視点にて試食会の具体的な内容について検討する。

活用する食材(トナカイ、牛乳、鴨、湧水等)

試食会の対象

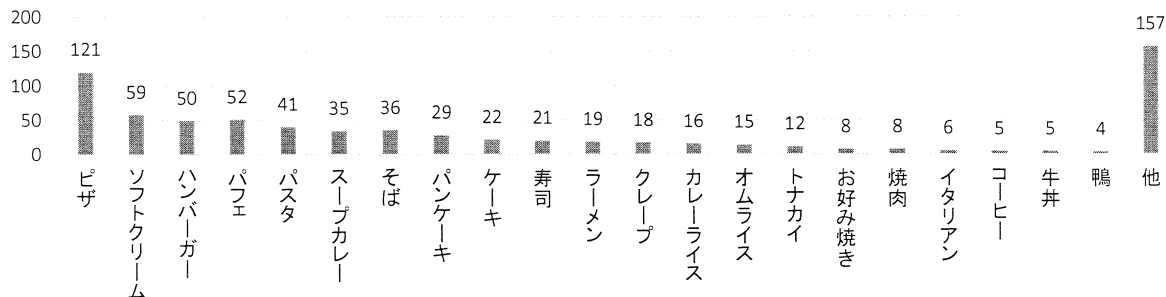
試食会の実施内容

連携・協働・協力いただく町内の団体等

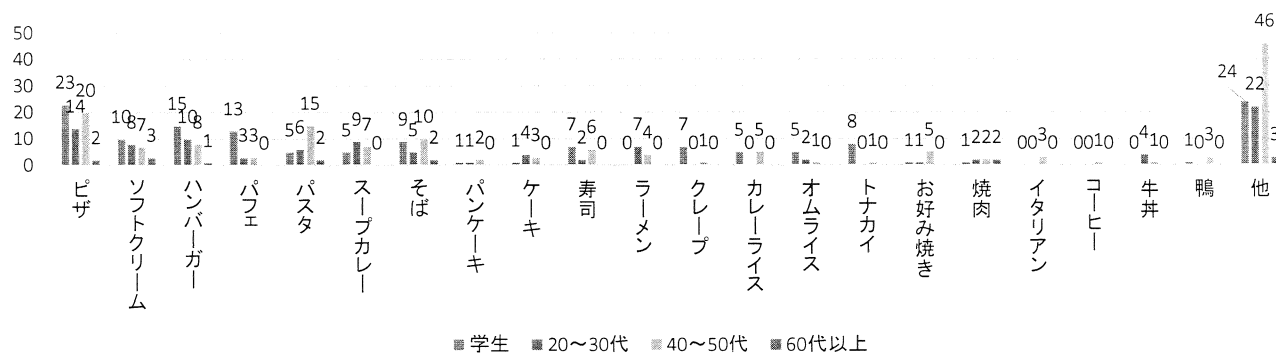
Q.1 幌延町で気軽に食べられたら良い！と思うもの

	男性					女性					合計
	学生	20～30代	40～50代	60代以上	小計	学生	20～30代	40～50代	60代以上	小計	
1 ピザ	23	14	20	2	59	24	18	19	1	62	121
2 ソフトクリーム	10	8	7	3	28	9	12	8	2	31	59
3 ハンバーガー	15	10	8	1	34	8	4	4	0	16	50
4 パフェ	13	3	3	0	19	24	3	6	0	33	52
5 パスタ	5	6	15	2	28	1	5	6	1	13	41
6 スープカレー	5	9	7	0	21	2	8	3	1	14	35
7 そば	9	5	10	2	26	1	2	6	1	10	36
8 パンケーキ	1	1	2	0	4	12	6	4	3	25	29
9 ケーキ	1	4	3	0	8	4	5	5	0	14	22
10 寿司	7	2	6	0	15	4	1	1	0	6	21
11 ラーメン	0	7	4	0	11	1	5	1	1	8	19
12 クレープ	7	0	1	0	8	7	2	1	0	10	18
13 カレーライス	5	0	5	0	10	1	3	2	0	6	16
14 オムライス	5	2	1	0	8	3	3	1	0	7	15
15 トナカイ	8	0	1	0	9	1	2	0	0	3	12
16 お好み焼き	1	1	5	0	7	0	0	1	0	1	8
17 焼肉	1	2	2	2	7	1	0	0	0	1	8
18 イタリアン	0	0	3	0	3	1	0	2	0	3	6
19 コーヒー	0	0	1	0	1	0	0	3	1	4	5
20 牛丼	0	4	1	0	5	0	0	0	0	0	5
21 鴨	1	0	3	0	4	0	0	0	0	0	4
22 他	24	22	46	3	95	25	17	17	3	62	157
小計	141	100	154	15	410	129	96	90	14	329	739

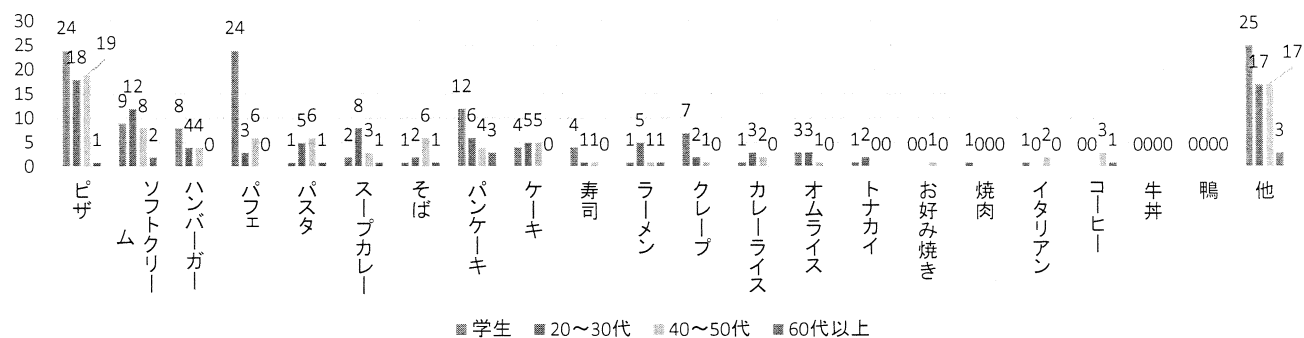
合計



男性



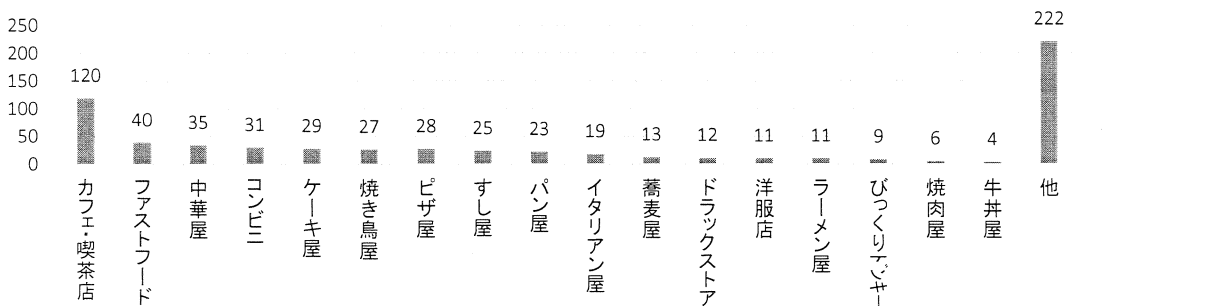
女性



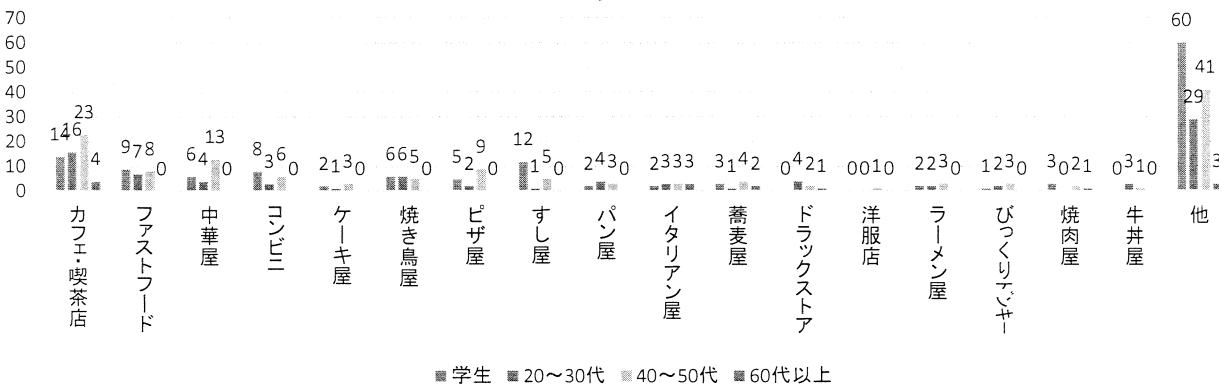
Q. 2 幌延町にこんなお店がほしい！と思うもの

男性						女性						単位: 件
	学生	20~30代	40~50代	60代以上	小計	学生	20~30代	40~50代	60代以上	小計	合計	
1	カフェ・喫茶店	14	16	23	4	57	21	22	17	3	63	120
2	ファストフード	9	7	8	0	24	9	6	1	0	16	40
3	中華屋	6	4	13	0	23	3	4	5	0	12	35
4	コンビニ	8	3	6	0	17	7	4	3	0	14	31
5	ケーキ屋	2	1	3	0	6	10	10	2	1	23	29
6	焼き鳥屋	6	6	5	0	17	4	4	0	2	10	27
7	ピザ屋	5	2	9	0	16	4	3	5	0	12	28
8	すし屋	12	1	5	0	18	5	0	2	0	7	25
9	パン屋	2	4	3	0	9	6	5	3	0	14	23
10	イタリアン屋	2	3	3	3	11	2	3	3	0	8	19
11	蕎麦屋	3	1	4	2	10	1	1	1	0	3	13
12	ドラッグストア	0	4	2	1	7	0	3	2	0	5	12
13	洋服店	0	0	1	0	1	1	1	5	3	10	11
14	ラーメン屋	2	2	3	0	7	3	1	0	0	4	11
15	びっくりドンキー	1	2	3	0	6	0	2	1	0	3	9
16	焼肉屋	3	0	2	1	6	0	0	0	0	0	6
17	牛丼屋	0	3	1	0	4	0	0	0	0	0	4
	他	60	29	41	3	133	48	22	18	1	89	222
	小計	135	88	135	14	372	124	91	68	10	293	665

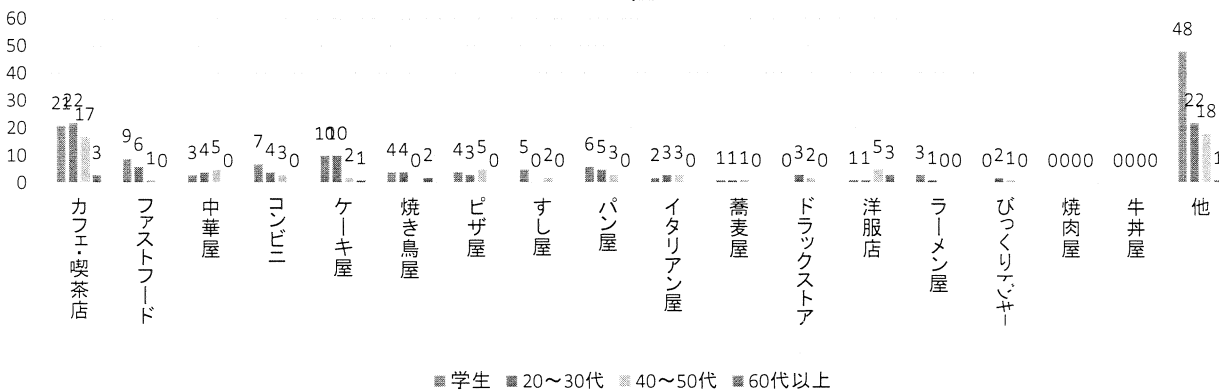
合計



男性



女性



○アンケート回答数

	学生	20～30代	40～50代	60代以上	計
男	77	70	91	12	250
女	73	64	55	15	207
計	150	134	146	27	457

その他の意見

Q. 1 幌延町で気軽に食べられたら良い！ と思うもの	Q. 2 幌延町にこんなお店がほしい！ と思うもの
<ul style="list-style-type: none"> ・北星園の野菜、合鴨、雪印のバターに特化した食品の開発 ・合鴨せいろ ・合鴨南蛮 ・合鴨ステーキ ・ホッキ等季節を取り入れた料理 ・秘境駅弁当 ・幌延産牛乳を使ったデザート ・幌延産乳製品で作るピザ ・幌延産牛乳ラーメン ・幌延産牛乳クレープ ・海鮮物 ・有機野菜を使った物 	<ul style="list-style-type: none"> ・デリバリー可能な店 ・イオンのフードコートのような明るい感じの持ち込み可能な喫茶店 ・創作料理 ・日本酒専門店 ・wi-fiが使える店 ・肉、乳製品をメインにしたレストラン ・子供とゆっくり食事できる店 ・町民の手作作品や野菜が買える店 ・野菜市 ・旬を味わえる品のよい料理店 ・テイクアウトできる喫茶店 ・遅くまで営業しているレストラン ・一人でも入れる小奇麗レストラン ・お菓子屋 ・24時間営業の店 ・移動販売 ・昔のお店

協働のまちづくり活動支援事業補助制度について

産業振興課企画振興グループ

1. 目的

- 多様な発想に基づき、町民意識や地域の実情に即して自主的、主体的に行う公益性・公共性の高い活動に対し、町が支援することにより、町民と協働のまちづくりを推進することを目的とします。
- 補助金を活用することにより、NPO法人等の新しい団体の立上げや、既存団体の新しい公益的・公共的事業の実施など、地域の課題解決に向けた新たな協働の取組みを支援します。
- 補助対象事業は公募方式により募集し、審査を経て決定します。

2. 補助対象者の要件

- 対象者
 - (1)3名以上の町内在住又は町内に勤務する20歳以上の者で組織された団体
 - (2)政治活動及び宗教活動を目的としないこと
 - (3)営利を目的としないこと
 - (4)暴力団若しくはその構成員の統制の下にないこと
 - (5)町税等に滞納のないこと

3. 補助対象事業

◇同一の事業内容について、3回まで申請可能

- 町民が自由に参加できるもの、公共サービスを楽しむことができる事業
- 町内で行う公益性・公共性のある事業 ※地域間で連携して実施する事業については対象
 - (1)公共的空間及び環境整備等
 - (2)地域資源の保全及び有効活用
 - (3)地域課題の解決
 - (4)町民への公共サービスの提供
 - (5)イベント開催
 - (6)幌延町の広報普及
 - (7)地域人材育成
 - (8)地域振興に係る調査研究
 - (9)幌延町総合計画等町が策定する計画等の推進に資する活動
 - (10)公益的・公共的活動を行う団体設立等(NPO法人等)
 - (11)その他町長が認める事業

※公共性・公益性に欠ける事業(町等公益的団体から補助金を受けている事業、趣味・慰安的な事業、特定の個人・団体の利益を目的とする事業、単なる物品の購入・配布事業、主たる効果が町外に生じる事業)は対象外とする

☆事業例:新たな特産品開発に向けた試作品製造

⇒町産食資源活用(2)、特産品の開発(3)、特産品による幌延町の周知(6) に該当

4. 補助対象事業期間

○4月1日から1月31日までの申請で、年度末までに事業の完了するもの

※平成 29 年度～要綱整備後運用開始

5. 補助率と補助金の額

○補助率及び補助金の額は次のとおりとし、予算の範囲内において決定します。

※6月補正予算に 100 万円を計上

補助対象経費(円)		補助率(%)	加算額(円)
300,000まで		100	—
300,000以上	500,000未満	70	90,000
500,000以上	1,000,000まで	60	140,000

例)対象事業費:750,000円
750,000円×60%+140,000円
=590,000円

※事業費限度額～100万円

※補助金交付限度額～100万円(1年度・1補助事業対象者)

※参加者負担金、寄付金、協賛金、その他事業の実施により得た収入は補助対象経費から控除

6. 補助対象となる経費

○補助対象となる経費は、事業実施に直接的に必要で、かつ、社会通念上、補助の対象にふさわしい支出とし、おおむね次のとおりとします。

費目	内容
報償費	講師・専門家等への謝金・謝礼
旅費	講師等に係る交通費又は宿泊費の実費、視察経費
需用費	印刷製本費、消耗品費、光熱水費、機械器具等に係る燃料費、作業参加者等へのお茶代、食材料費
役務費	広告料、通信運搬費、保険料、役務の提供に要する費用
委託料	部分的な業務委託
使用料・賃借料	機械等の賃料、物品及び会場使用料・賃借料
原材料費	種苗、賄材料、敷き砂利、木材等
その他	町長が特に必要と認めたもの(個別に判断)

7. その他

○補助採択事業(内容・成果等)は、原則すべて公開とします。(広報誌・町HP)

○違法、不当な行為等あった場合、補助金の一部又は全部を返還していただきます。

○町は、事業における町広報誌、町ホームページ、告知端末機の掲載、後援に関して便宜を図るよう調整します。

○補助事業の実施や準備、打ち合わせなどのため、町有施設を使用する必要がある場合には、使用料の減免など施設の利用に関して便宜を図るよう調整します。